

核不拡散・核セキュリティ作業部会

第13期における主な論点（案）

（1）核不拡散・核セキュリティ体制強化に必要な人材育成の方向性について

- ・ISCNとIAEA核セキュリティ教育ネットワーク（INSEN）との協働を通じた大学連携による核セキュリティ教育の強化（原子力教育コンソーシアム（ANEC）、産業界との連携を含む）
- ・サイバー及びRIセキュリティ等の新たなニーズへの対応、実習フィールド・トレーニングコースの充実や機能強化
- ・核セキュリティ人材育成に関する国内及びアジア地域へのアウトリーチ活動の展開 等

（2）核不拡散・核セキュリティ体制強化に必要な研究開発の方向性について

- ・核セキュリティに関する技術開発の推進、ユーザ・大学・行政機関等との国内外の連携
(米国等と連携したプルトニウム核鑑識技術開発、核鑑識能力の強化及び核拡散抵抗性の向上に向けたアジア地域等への技術支援、核セキュリティ分野におけるAI技術の活用等)
- ・ISCNによる技術開発の社会実装に向けた取組に関するフォローアップ 等

（3）その他、核不拡散・核セキュリティに関する諸課題について

- ・核不拡散・核セキュリティに関する政府間の取組（多国間、米国等の二国間の枠組みの活用）
- ・核物質の最小化と適正管理のための研究炉からの高濃縮ウランの返還と低濃縮化の推進 等